

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語総合 I	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 第1学年

1 学習の到達目標等

<p>学習の 到達目標</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、英語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やり取り] ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表] ア世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p>
<p>使用教科書 副教材等</p>	<p>自主作成教材、ジーニアス総合英語</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、世界の様々な国の人々が聞き手、読み手、話し手、書き手であることに配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	事前学習 (自己分析、プレゼンテーションスキル) 世界とつながる探究① (候補: フィリピン) 世界とつながる探究② (候補: インドネシア)	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査等	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査等	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	世界とつながる探究③ (候補: グアテマラ) 世界とつながる探究①～③のまとめ ・発表・振り返り (パネルディスカッション)	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査等	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査等	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	<p>事前学習</p> <p>◎社会課題を自分ごと化するってどういうことだろう。</p> <p>○他の国の人と話すとどんなことがわかるだろう。</p> <p>【自己分析】現時点で個人がどのような社会課題に関心があるのかを自己分析し、深く調べてみたい社会問題をワークシートに記入、提出する。</p> <p>○プレゼンテーションワークショップ①</p> <p>1 時間目に記入した社会課題を元にグループ編成し、グループごとで調べ学習・プレゼン作りを行う</p> <p>○プレゼンテーションワークショップ②</p> <p>各グループでスライド一枚のプレゼンテーションを作成し、他グループに発表する。+1 グループ最低 2 つ質問</p> <p>○ワークショップ① 写真を見て説明してみるコーナー(食べ物、広島の場合)</p> <p>○ワークショップ② 3 回目で行ったプレゼンを英語で行う +1 グループ最低 2 つ質問</p>	9
	5	<p>世界とつながる探究①</p> <p>フィリピン(候補)の学校とのオンラインセッション(計 5 回)</p> <p><u>セッション内容案(以下の候補から相手に応じて選択する)</u></p> <p>初級編 食文化、衣服、祝日</p>	
	6	<p>中級編 宗教、民族、アート、観光、戦争と平和(過去)</p> <p>上級編 環境正義、経済格差、ジェンダー、健康格差 + 健康度合い、戦争と平和(現在)、エネルギー問題</p> <p style="text-align: right;">----- 第1回考査(実施なし)</p>	
	7	<p>世界とつながる探究①の続き</p>	
	8	<p>世界とつながる探究②</p> <p>インドネシア(候補)オンラインセッション(計 5 回)</p> <p><u>セッション内容案(以下の候補から相手に応じて選択する)</u></p> <p>初級編 食文化、衣服、祝日</p>	
	9	<p>中級編 宗教、民族、アート、観光、戦争と平和(過去)</p> <p>上級編 環境正義、経済格差、ジェンダー、健康格差 + 健康度合い、戦争と平和(現在)、エネルギー問題</p> <p style="text-align: right;">----- 第2回考査(実施)</p>	8

後 期	10	世界とつながる探究③ グアテマラ(候補)の学校とのオンラインセッション(計5回) セッション内容案(以下の候補から相手に応じて選択する) 初級編 食文化、衣服、祝日 中級編 宗教、民族、アート、観光、戦争と平和(過去) 上級編 環境正義、経済格差、ジェンダー、健康格差+健康度合い、 戦争と平和(現在)、エネルギー問題	9	
	11			
	12	----- 第3回考査(実施なし) ----- パネルディスカッション・振り返り ○GY4 Colloquium に向けた準備 ※GY5 Global Youth 4 の略称 グループをさらに二つに分け、各国4人ずつ代表となる ○GY4 Colloquium #1(日常生活+文化編) 日本を含めた5カ国間で会合(パネルディスカッション)を行う グループをさらに二つに分け、各国4人ずつ代表となる(ファシリテーター2名が進行役) ○GY4 Colloquium #2(社会格差+環境課題編) 日本を含めた4カ国間で会合(パネルディスカッション)を行う グループをさらに二つに分け、各国4人ずつ代表となる(ファシリテーター2名が進行役) ○GY4 Colloquium #1(日常生活+文化編) 日本を含めた4カ国間で会合(パネルディスカッション)を行う グループをさらに二つに分け、各国4人ずつ代表となる(ファシリテーター2名が進行役) ○GY4 Colloquium #2(社会格差+環境課題編) 日本を含めた4カ国間で会合(パネルディスカッション)を行う グループをさらに二つに分け、各国4人ずつ代表となる(ファシリテーター2名が進行役) ○プロジェクトのまとめ 個人で活動を振り返り、プロジェクト実施前と後でどのように変化があったか自己分析する。 ----- 第4回考査(実施) -----		9

5 その他

- 基本はLL教室を使用し、classroom等を活用しながらオンラインベースで授業を進めていきます。
- オンラインセッションの相手国については、国際情勢や時差等を考慮し、変更がある場合があります。
- 定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。